

記入例 1 (大学院用の例)

(様式第 1 号)

西暦〇〇〇〇年 10 月 10 日

認定社会福祉士認証・認定機構

機構長 様

団体名：学校法人〇〇〇〇 〇〇大学大学院**学校**

代表者：学 長 教育 一郎

印之印

研修認証申請書

下記について、関係書類を添えて申請します。

申請の区分	■新規申請 <input type="checkbox"/> 更新申請⇒(認証年度：20 年度 認証番号：)
申請対象の 科目の区分	■認定社会福祉士⇒ ■共通専門 <input type="checkbox"/> 分野専門 () <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 認定上級社会福祉士
科目の群	ソーシャルワーク理論系科目群 I
科目名 (単位数)	ソーシャルワーク理論系科目 I (2 単位)
認定申請する研修 の名称	ソーシャルワーク論
認証申請する期間 ※「その他科目」(新規申請) の場合のみ、いずれか1 つを選択してください。	<input type="checkbox"/> 今年度の4月1日から3年間 <input type="checkbox"/> 今年度の9月1日から3年間 <input type="checkbox"/> 来年度の4月1日から3年間 <input type="checkbox"/> 来年度の9月1日から3年間
その他特記事項	

<提出書類一覧>

- 様式第 1 号「研修認証申請書」(本書)
- 別紙①「認証申請科目に対する研修の内容」
- 別紙②「認証申請する研修の実施体制等(届出事項)」
- 様式「研修シラバスと認証用のシラバス対比表」 ※「その他科目」は提出不要
- 研修シラバス
- 様式「研修認証申請のための申請書類チェックリスト」
- 様式「自己評価報告書」(更新の場合のみ) ※大学院については提出不要
- その他 ()

申請担当者

所 属	学校法人〇〇〇〇 〇〇大学大学院事務室
氏 名	▽▽ ▽▽
TEL	XXX-XXX-XXXX
FAX	XXX-XXX-XXXY
E-mail	yy@xx.ac.jp
通知等送付先 住所	〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇9 丁目 8 番 7 号

<機構使用欄>

受付	
理事会承認	
認証番号	

認証申請科目に対する研修の内容 大学院用

申請対象の 科目の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 認定社会福祉 / <input checked="" type="checkbox"/> 共通専門 <input type="checkbox"/> 分野専門 () <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 認定上級社会福祉士	
科目群名	ソーシャルワーク理論系科目群 I	
科目名	ソーシャルワーク理論系科目	
(1)提供する研修について		
研修名	ソーシャルワーク論	
研修目標	ソーシャルワークの実践理論・モデルと実務を結びつけ、理論・モデルに基づく対象把握、実践を行うことができる。	
到達目標	3つの対象レベル(個人・地域・組織)において、ソーシャルワークの実践理論に基づき、対象の統合的な理解・把握、アセスメントができる。また、自身の実践の振り返り、改善を行う。	
研修内容 (研修プログラム)	含むべき内容	研修プログラム
	<p>①対象レベル(個人・地域・組織)におけるソーシャルワーク実践理論・実践モデルの活用の実際についての講義</p> <p>②演習(チームアプローチを含む)</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「その他科目」の申請では、含むべき内容の記載は不要です。また、含むべき内容と研修プログラムとの対照関係(例えば「①該当」)の記載も不要です。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例では、テーマだけを記載している回がありますが、15回のように内容がわかるよう各回について3～5行程度で内容を説明してください。申請書のページが多くなっても構いません。</p> </div>	<p>1回: ソーシャルワーク実践理論・モデルについての概論(講義)(①該当)</p> <p>2回: システム理論(講義)(①該当)</p> <p>3回: 行動理論(講義)(①該当)</p> <p>4回: 心理・社会モデル(講義)(①該当) ロールプレイ(演習)(②該当)</p> <p>5回: 生態学モデル(講義)(①該当)</p> <p>6回: ライフモデル(講義)(①該当)</p> <p>7回: 課題中心モデル、問題解決モデル(講義)(①該当)</p> <p>8回: ジェネラリストモデル(講義)(①該当)</p> <p>9回: 理論モデルと実践についての考察 I (演習) ケースメソッドによる事例検討を行う。(②該当)</p> <p>10回: 理論モデルと実践についての考察 I (演習) ケースメソッドによる事例検討を行う。(②該当)</p> <p>11回: チームアプローチ I (講義) 組織内における他職種連携・協働(①該当)</p> <p>12回: チームアプローチ I (講義) 地域における他機関・他職種などの連携、協働(①該当)</p> <p>13回: チームアプローチ II (演習) ロールプレイ(②該当)</p> <p>14回: 理論モデルと実践についての考察 II ①: 自身の実践について理論・モデルと結びつけて検討する。グループに分かれて検討を行う。(②該当)</p> <p>15回: 理論モデルと実践についての考察 II ②: 自身の実践について理論・モデルと結びつけて検討する。自身の実践について理論・モデルと結びつ</p>
<p>※「その他科目」の場合は、右側の「研修プログラム」欄のみ記載してください。</p>		

		けて検討する。グループに分かれて検討を行う。(②該当)
研修方法	<input checked="" type="checkbox"/> 通学課程（集合研修） <input type="checkbox"/> 通信課程（通信研修）	<hr/> 面接授業（講義、演習） <small>※認定上級社会福祉士科目の場合は、使用教材について、必ず明記してください。</small>
研修時間	<input type="checkbox"/> 研修時間（ 22.5 時間（90 分×15 コマ） ） <input type="checkbox"/> スクールアワーの適用の有無 ⇒ （ <input checked="" type="checkbox"/> あり ・ <input type="checkbox"/> なし ）	
講師要件 （講師の選定基準）	本学の専任または非常勤教員	
(2)受講者について		
受講対象 （受講要件）	次のいずれについても満たす者 ①社会福祉士有資格者 ②本学大学院の規程により受講を認める者	

※ 記入にあたっては、かならず「研修認証実施要領」を確認すること。

(別紙②)

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定 (※1)	
実施日	授業期間は、〇〇〇〇年4月1日～ 〇〇〇△年3月31日の半年間。
	授業期間は、〇〇〇△年4月1日～ 〇〇〇□年3月31日の半年間。
	授業期間は、〇〇〇□年4月1日～ 〇〇〇◇年3月31日の半年間。
開催場所(会場)	学校法人〇〇〇〇 〇〇大学(〇〇県〇〇市)
	学校法人〇〇〇〇 〇〇大学(〇〇県〇〇市)
	学校法人〇〇〇〇 〇〇大学(〇〇県〇〇市)
(2) 講師 (※2)	
担当、氏名及び略歴	〇〇〇〇 社会福祉専攻科教授 職歴 XXXX年～XXXX年 △△大学 XXXX年～XXXX年 〇〇〇大学社会福祉学部 XXXX年から現職 著書 「YYYYYYYYYYYYYYYY」◇◇書房、XXXX年 「ZZZZZZZZZZZZZZZZ」□□出版、XXXX年 その他 〇〇学会、△△学会会員 社会福祉法人〇〇会理事
(3) 研修履歴の管理体制	
受講履歴の管理方法	個人情報については、個人情報保護法による。 授業の出席、課題の提出状況は、エクセルによる管理。 履修終了後の修了履歴については、履修管理システムによるデータ管理。 システムでの履歴保存期間は永年とする。
受講履歴の証明	履修終了時に修了証を発行。 修了証を紛失した場合は、所定の手続きを取ることで修了証明書を発行する。

※1 実施予定のすべてを記入してください(必要に応じ、記入欄を追加してください)。

※2 認定上級社会福祉士科目は、講師は審査項目になります。(認定申請科目の場合でも、科目によっては要件を定める場合があります)